

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) ドツキョウダク カク	フリガナ) ケイガク カク	フリガナ) カハゼミ
獨協大学	経済学部	岡部ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) コクトウ	フリガナ) カチ リョウタ	6	無	
こくとう	内野 綾太			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

インバウンド消費の増加を乗り換えから考える

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

インバウンド消費を増加させるために、訪日外国人観光客の観光地滞在時間を延ばすこと。

訪日外国人観光客が不便だと感じている電車の乗り換えをスムーズにすること。

このビジネスを利用した国内インバウンド消費額目標達成、観光業活性化。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

2016年に日本政府がインバウンド消費を増やすことを目的とした「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」を行った。そこで決定した、訪日外国人観光客数を2020年に4000万人、2030年に6000万人、それに伴う消費額を2020年に8兆円、2030年に15兆円に伸ばすという目標を達成するために現在、国は様々な対策を行っている。

3. 研究テーマの課題

国の様々なインバウンド政策により、訪日外国人観光客数は大幅に増加した。しかし、消費額はあまり増加しておらず、このままでは 2030 年に 15 兆円という目標を達成できないと懸念されている。また、訪日外国人観光客一人当たりの消費額は、横ばいである。そこで、訪日外国人観光客一人当たりの消費額を増やすためにはどうすべきかが課題だ。

また、外国人観光客が日本で観光するときに困ることとして、電車の乗り換えが難しいという意見が多数あった。この不満を解決し、外国人観光客がより快適に日本で観光を楽しむことができれば、訪日外国人観光客一人当たりの消費額は増加するのではないかと考えた。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

観光地での滞在時間が増えることにより、消費額が増加するという理論のもと、外国人観光客がより長い時間観光を楽しめるように、スムーズな乗り換えと道案内をアプリで提供する。

アプリの概要は、X PAND コードと AR を利用し、現在地から目的地まですべて一つのアプリで案内できるオールインワン型乗り換え案内アプリである。既存の乗り換え案内アプリや地図アプリとの相違点として、X PAND コードを利用することで地下での案内が可能であること、AR を利用することで道案内を地図上ではなく、実際の通路で行えることだ。

目的地までの移動がスムーズになることによって、観光地での滞在時間が増え、消費額の増加が狙える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

ビジネスモデルの構築

企業へのヒアリング(近畿日本鉄道、X PAND 株式会社、株式会社キャドセンター、株式会社アトック)

浅草での街頭調査(対象:外国人観光客)

6. 結果や今後の取り組み

外国人観光客にとって、このアプリの需要は十分に見込める。

今後の展開としては、利用者を訪日外国人観光客だけでなく、日本人にも広げたいと考える。また、電車以外にもバスやタクシーなどの交通機関にも対応を目指す。

このアプリの課題として、歩きスマホ問題が挙げられるが、この問題を解決するための案を考える。

7. 参考文献

・訪日外国人観光客の名古屋駅での乗り換え等に関する

問題解消に向けた実証事業

▷ <http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kankou/pdf/h29/meiekihoukoku.pdf>

・「明日の日本を支える観光ビジョン」世界が訪れたい日本へ

▷ <http://www.mlit.go.jp/common/001126601.pdf>

・外国人旅行者の日本の受入環境に対する不満・不便

▷ <http://www.mlit.go.jp/common/000205584.pdf>

・2018 年インバウンドデータ

▷ <https://honichi.com/data/demand/2018/>

・インバウンドインフラ

▷ <https://www.digima-japan.com/knowhow/world/4984.php>

・コト消費ラボ

▷ <https://chibra.co.jp/taiken/jnto-2018year-repo/>

・訪日外国人客数・消費額の推移

▷ https://invest-online.jp/news/lodging_2018-10383/

・Facebook とは

▷ <https://gaiax-socialmedialab.jp/post-48692/>

・Mafengwo とは

▷ <https://be-a.com/service/>

・訪日外国人観光客の地域別の推移

▷ <https://statistics.jnto.go.jp/graph/>

・訪日外国人予測推移

▷ <https://chibra.co.jp/taiken/jnto-2018year-repo/>

・XPAND コード

▷ <https://xpand.codes/ja/xpandcodes/>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください